

# かすがい



「花」～野本敏春～

## ～目

- 第57回通常総会 開催  
～新体制で20年度に臨む～  
新支部長に酒井忠男氏を選任 …2～3P
- 新役員挨拶 …4～5P
- 委員長紹介 …6～8P

## 次～

- 支部日誌  
支部活動&今後の予定 …8P
- お知らせ …8P
- 編集後記 …8P

## 第57回通常総会 開催

## 新体制で20年度に臨む

「一步一步の積み重ね支部の魅力に」



新支部長に  
酒井忠男氏  
(酒井設計事務所)



当支部（関邦則支部長）は4月22日、長野市のホテルメルパルクNAGANOで第57回通常総会を開き、前年度の収支決算報告ならびに20年度事業計画等を議決したほか、現役員退任に伴う役員改選を行いました。

新支部長には、酒井忠男氏（酒井設計事務所）を選任。副支部長にはそれぞれ、前任期を務めた小林克己氏と松本茂男氏の両氏を再任し、新たに佐藤修明氏を選出。また、前任期支部長を務めた関邦則氏には、支部事業に対する長年の事業貢献を称え功労者表彰が与えられ、酒井新支部長から感謝状と記念品が手渡された。



新旧役員あいさつでは、関前支部長から「就任期間1期2年の短い間だったが、取り巻く環境は大きく変わった。改正建築基準法でもたらされた業界混乱は、依然として改善に至らず、

一層の厳しさを増している。建築士法の改正を控えたこの時期、元をただせば、建築士の耐震偽装問題が原因。建築士としての責務を再認識しなくてはならない。任期中は講習会や研究会など例年以上の密な活動を、会員協力のもとで実現できたと感じている。今後も引き続きひとりの支部会員として事業活動に参加協力していきたい」と退任の挨拶。これを受けて、酒井新支部長からは「経験浅いが、一步一步の積み重ねで魅力ある支部となるよう努力していきたい。そのためには、正会員と賛助会員の連携が不可欠。担当行政関係の支援を得ながら、支部発展に寄与していく」と抱負が述べられた。

会員相互の親睦を目的に開かれた総会後の懇親会では、来賓に顧問の石田治一郎、高橋宏の両県議、長野市長代理の南沢純一建設部建築指導課長、相談役の小沢慎一県長野地方事務所建築課長、高野正晴長野市議会建設企業委員長、柳澤隆一県建築士事務所協会会長を招き、「県内の建設関連業者は、改正建築基準法の施行や公共事業の縮減、近々では道路特定財源の暫定税率の失効に伴う国の交付金事業の遅れなどによって、ひん死の状態に。会員各位には安全で安心な技術の提供を行う使命がある。全員が協調し、資質と技術の向上に尽力してほしい」などの激励をいただいた。



柳沢隆一氏



南沢純一氏

また、同日開催された当支部賛助会の通常総会では、収支決算報告等の議案決議を行うとともに任期満了に伴う役員改選を行い、現会長の坂田守夫氏（坂田工業）をはじめとする執行役員すべてが再任されました。



平成20年度 理事・監事名簿

役 職	氏 名	事務所名
支 部 長	酒井 忠男	(株)酒井設計事務所
副支部長	小林 克己	(株)グランベール計画
	松本 茂男	(株)松本設計
	佐藤 修明	佐藤建築設計室
会計理事	小林 正直	(株)スペース・プロ
	関田 泰雄	北信土建1級建築士事務所
理 事	勝家 宏郎	WIN構造設計室
	神林 孝男	(株)第一設計
	小林 公一	(株)エーシーエ設計
	小林 孝	(株)巴設計
	斉藤 浄	(株)鹿熊組1級建築士事務所
	田中 利幸	北野建設(株)1級建築士事務所
	田村 正治	(株)アイエーディー建築事務所
	丹羽 正道	共和建設1級建築士事務所
	橋本 兼義	千広建設(株)1級建築士事務所
	町田 憲一	(株)宮本忠長建築士事務所
	松林 学	(株)守谷商会1級建築士事務所
	宮下 信夫	(株)エーアンドユー設計事務所
	峯村 洋	高木建設1級建築士事務所
	山口 英彦	(株)山口設計事務所
監 事	高橋 賢二	(株)中村建築研究所
	関 昌憲	関建築設計事務所

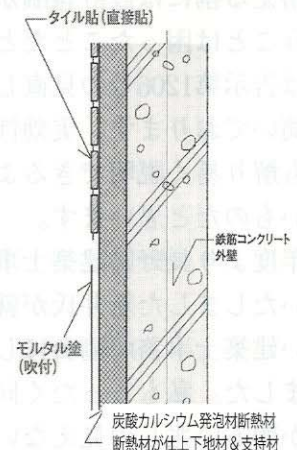
平成20年度賛助会役員名簿

役 職	氏 名	企業名
会 長	坂田 守夫	坂田工業(株)
副 会 長	水澤 仁亮	(株)二見屋
会計幹事	岡澤 元彰	(株)本久
幹 事	小林 伸夫	(株)小林タイル
	竹内 重雄	(株)旭電気商会
	小林 信	(株)岩野商会
	左右田昭道	(株)インテック左右田
	齊藤 昌彦	(株)角藤 東北信支店
	手塚 邦光	富国物産(株)
	高木 茂実	松田・南信(株)
	大井 芳也	(株)山二
監 事	大庭 修	トリアン(株)
	笹崎 茂	(株)ニュースト

本久は、数ある外断熱工法を厳選し、人と地球に優しい「安心・安全の外断熱システム」をお届けします。

株式会社 本久 建築部

本社 〒381-8588 長野市桐原一丁目3番5号  
 ☎026-241-1155 Fax026-259-1175  
 上田 〒386-0034 上田市中之条380-9金沢ビル  
 ☎0268-26-7800 Fax0268-23-6071  
 松本 〒399-0033 松本市笹賀7600-59  
 ☎0263-57-3151 Fax0263-57-3031



## 新役員挨拶



### 支部長就任にあたって

#### 支部長 酒井忠男

本年度より長野県建築士事務所協会長野支部の支部長に就任いたしました(株)酒井設計事務所の酒井忠男でございます。

まさか、このような大役をおおせつかるとは思っていませんでしたが、前関支部長の要請により心定まらぬまま引き受けてしまったような次第であります。

歴代の支部長経験者の皆様方から、また前本会会長からは会員を増強し事務所協会を発展させていくようにとの叱咤激励を受けました。建築業界低迷の折そう容易にはいかないであろうと思いますが努力いたしたいと思っております。会員の皆様の協力をぜひお願いいたします。

昨年の「改正建築基準法」の施行による確認業務の遅延。今年秋に施行されます新建築士法の改正による「管理建築士資格取得講習」。来年の秋から施行されます「瑕疵担保履行法」とあいついで様々な変革難関が待ち受けております。厳しくなるということは様々な意味で決して悪いことではないと思っておりますが、業務内容が増える割には設計報酬が上向きにならないということは困ったことだと思います。今年の秋には告示第1206号の見直しが行なわれるとの話も聞いております。実効性があり一般顧客の方にも解り易く説明できるような内容にして頂きたいものだと思います。

本年度より長野県建築士事務所協会の会長に就任いたしました新井氏が就任に際し「先ずは明るい建築士事務所協会にしましょう」と挨拶されました。私もまったく同感であります。なかなか明るい兆しの見えない建築業界ですが、知恵を絞って明るい長野支部にしていきたいと

思います。

経験不足、知識不足の支部長でございますが一所懸命に勤めさせていただきます。皆様の絶大な御指導御協力をお願いして、就任の挨拶とさせていただきます。



### 新任あいさつ

#### 副支部長 小林克己

副支部長のあいさつと言われましても・・・厳しい社会情勢の中、新支部長という大役をお受けになった酒井忠男氏の施策をサポートする事が副支部長の役目であると感じています。

昨今の景気低迷時代の泥沼から、這い出したいと業界全体がもがいているが、いまだ建設的な発想が出るわけでもなく、日々混沌と送っているのが現状と思われまます。また協会の存続(社会的認知、存在価値、必要性)の意義を感じる今日この頃…。皆様方のさらなるご協力のもと刷新的な方向性が導かれる事を念じて…!!



### 新任あいさつ

#### 副支部長 松本茂男

この度、引き続き副支部長を、おおせつかりました松本茂男です。今までも至らない所が沢山あったと思いますが、酒井新支部長を補佐しながら支部の事業を推進して行きたいと思っております。会員皆様のご指導ご協力宜しくお願い申し上げます。

さて事務所協会を取り巻く環境は、変革の真ただ中です。今も管理建築士資格取得講習の申込みをしたところです。また、建築士法の改正も間近にひかえています。今年も去年に引き続き、講習会のあい間をみて仕事をするような、本末転倒の状態になりそうです。

また、事務所協会の主要な事業であります木造耐震診断も、各診断士の皆様のご協力を得て

事業を推進しているところです。まだまだ多くの診断が依頼されることと思います。なお、耐震診断料が安いので、実働の報酬に近づくよう県に申し入れているところです。一方本事業は、事務所協会の社会へのPRにもなります、社会貢献にもなるのではないのでしょうか。どうか診断士の皆様には、ご理解を頂き、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務所協会の会員数の減少が続いています。

減少に歯止めをかけないといけません。事業の「廃業」での退会はしかたがありませんが、「魅力がない」、「メリットがない」での退会は避けられないといけません。会員の皆様全員参加の、建築士事務所協会長野支部をつくりたいと思います。

会員皆様のより一層のご支援宜しくお願い申し上げます。



## 新任あいさつ

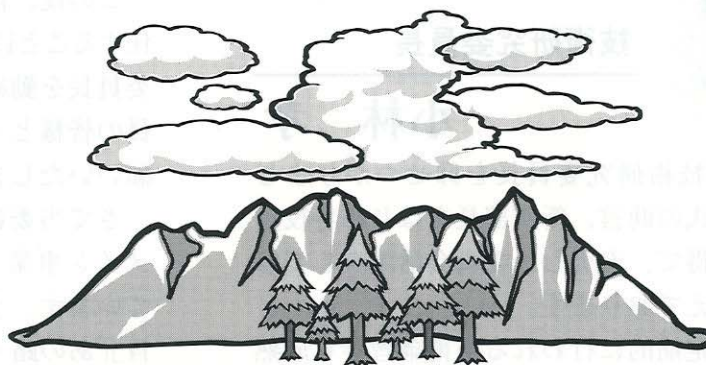
### 副支部長 佐藤修明

梅雨明けが告げられて、厚い日が続いておりますが皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成20年度4月より長野支部の副支部長として会員皆様の協力を得て支部活動に微力ながら参加させていただいておりますが宜しくお願い致します。

私は、前々の池田支部長の折に副支部長として理事を務めて来ましたが、設計事務所登録の関係で一時退会をし、長野県建築物防災協会副会長として建築物定期報告及び木造住宅耐震診断業務で建築士事務所協会の皆様方にお世話になっております、新人でもないので気楽にお付き合いいただいて支部の活性化に協力できたらと考えています。

建築士の業務能力及び資質等重要な社会問題となっている昨今ですが、会員各位の情報交換及び勉強会等により切磋琢磨して支部運営に手助け出来たら幸いと考えおりますので今後とも宜しくお願い致します。個人的な紹介を少しさせていただきますが、平成18年春より事務所を信濃町に移転し、信濃町役場の近くで設計業務を行っています。実は長野市まで毎日通勤するのが苦痛になって自宅の近くに移転したのですが設計活動の現場はほとんど長野市内ですからガソリン燃料の高騰でますます打撃を受けています、自宅で食べる米・野菜などを一昨年より本気で作り農家の真似ごとをしつつ無農薬栽培と自負しながら収量の少なさに反省の繰替えしと、設計業務の減反に苦労して居る毎日です、猛暑の長野から信濃町近辺に出向く事が有りましたらお立ち寄り下さい、クーラーは有りませんが冷えた麦茶で歓迎いたします。



## 委員長紹介



業務委員長

### 町田 憲一

この度、業務委員長を仰せつかりました。委員会では、業務法制度の推進、建築設計事務所の外部へのPR、会員の拡大、そして住宅相談を担当してまいります。

相談業務にあたり、建築・リフォーム等をめぐってのトラブルの相談に直面すると、

もっと建築設計事務所が、消費者（施主）にとって、気軽に依頼・相談の出来るような存在になっていけば良いのになどと感じているところです。私たちが持つ専門的な知識・経験を活用して、できるだけ世の中が、より良くなることに貢献できればいいのではないのでしょうか。そんな時、信頼のおける設計事務所は、建築士事務所協会に聞けばわかる。そこに所属している事務所は信頼できる。（自己研鑽と規律が必要ですが）そんな、魅力ある事務所協会になれることを願い微力ながら勤めてまいりたいと思っております。

委員の皆様をはじめ、会員の皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。



技術研究委員長

### 小林 孝

このたび技術研究委員長を仰せつかりました。先輩諸氏の助言、新支部長をはじめ各役員方の協力を得て、充実した委員会活動をして参りたいと考えております。

また、年定期的に行われる技術講習会も成熟さを増し、会員出席も会を重ねるために増す状

況にあります。各会員の技術向上に役立つものとして、更なる内容の充実に心がけて参りますので、会員皆様の積極的なご参加とご協力を、引き続きお願い申し上げます。



法規委員長

### 神林 孝男

この度、法規委員長を仰せつかりました。2期目の委員長と言うことになります。今回は委員の方も大勢になり、酒井支部長の下、与えられた職務をこなしていきたいと思っておりますので委員の皆様、ご協力宜しくお願いいたします。

さて、建築基準法の改正に伴う混乱が続く中、建築士法の改正を11月に控えまだまだ設計業界は試練が続きます。法規講習会、各種研修会などを通して正しい知識と情報をお伝えしたいと考えています。また、いよいよCPD制度の活用も国の方針として出て参りました。そういった動きに会わせて、何が社会から求められていて何をすべきなのか、皆さんと共に考えて参りたいと思っております。

委員の皆様には有益な活動にして参りたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



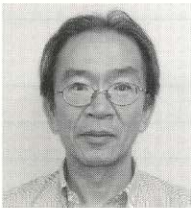
広報委員長

### 丹羽 正道

この度、前年度に引き続いて広報委員長に就任することになりました丹羽正道でございます。委員長を勤められる器ではございませんが、委員の皆様と一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて当委員会は会報誌「かすがい」の発行をメイン事業としており、現在162号まで発刊しています。支部活動の記事を中心に「建築士の目」「あの路・この店」なども連載してきました。今年度は、酒井新支部長のもと全会員が、いづ

れかの委員会へ所属する事になり、広報委員も8名から16名体制となります。前年度は、年4回発行の「かすがい」の記事は8名で持ち回りしておりますが、新体制で委員も倍となり、今までにない特色も出していけるのではと思います。活度がスムーズに運びますように皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 福利厚生委員長

## 齋藤 浄

今年度、長野支部支部長に就任されました酒井忠男支部長の後任として、福利厚生委員会の委員長をおおせつかりました齋藤です。

まだ事務所協会活動に参加して三年目であり、また今回おおせつかった福利厚生委員会に至っては初めての委員会であります。そのため、まずは委員会の活動内容を把握することからはじめる事になると思いますが、前任の酒井新支部長や継続されている委員の皆様のお力をお借りし、引続き会員相互の親睦を深められる活動が出来るよう努めて参りたいと考えております。

昨年度は永らく途絶えていた研修旅行を復活することができ、また参加された会員の親睦が大いに深めることができたと聞いております。私も前任の皆様が積み重ねてきたものを継続し、さらに発展できるよう、委員会の皆様のお力をお借りして、進めていくことができればと思っております。まずは、私はまだ一度も参加したことが無かったゴルフコンペから始めて参りますので、会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。



### 賛助委員長

## 田中俊幸

今年度、酒井新支部長のもと賛助委員会委員長を仰せつかり2期目を迎えることとなりました。

1期日在任中は賛助委員、賛助会員の皆様のご指導ご協力を得、不慣れを助けて頂き任を務めることが出来ました。今期も皆様のお力をかりて委員会の責務を果たして行きたいと思っております。引き続きご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当委員会では昨年に引き続き、商品の説明会、講習会等への協力、賛助会員の拡大、諸事業への協力を業務分担として掲げております。賛助会員の皆様との連携を一層深め、関係の皆様のご協力を頂きまして更なる活動の強化に努めていきたいと存じます。ITの時代となり情報の氾濫する中で、必要な情報、良質な情報をいかに得るかが業務にも影響を及ぼすのではないかと考えられます。賛助会員の皆様のご協力のもと、商品説明会等には特に力を入れて会員の皆様の情報の獲得に寄与出来ればと思う次第です。

## 「就任にあたって」

### 当支部賛助会 会長

## 坂田守夫

平素は長野建築士事務所協会長野支部の皆様方には、大変お世話になっておりますこと、重ねて感謝と御礼を申し上げます。

今回の役員改選で再度、賛助会長に選出されましたが、何分にも浅学非才の身ですので皆様方にはいつもご迷惑をおかけしていることと存じ上げます。2000年以降、長野県の建設業界は、暗闇に入ったまま出口が見えず、疑心暗鬼に陥り、安値受注に走り、延いては会社の存続をも危うくしており、最悪の事態を招いているのが現状です。我々が住んでいる北信エリアが特に悲惨に感じられ、大きな倒産が続いております。不景気に追い討ちをかけるような原油高にはじまり、資材の高騰が続いており、今後ますます値が上昇する事が予測されます。本当に世の中がおかしくなる程ですが、過去の栄光に浸ることなく、希望を持って前身するしかありません。皆様方の暖かいご指導ご鞭撻を頂きながら、任期を終えられたらと思います。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

支部日誌

■支部活動

※ は、支部主催のものではありません。

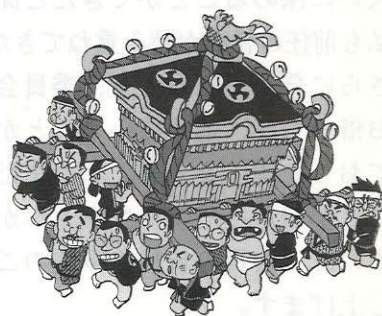
日 時	内 容	場 所	出 席 者
H20年 4月10日	賛助会 会計監査	長野建築センター	大庭監事、笹崎監事 坂田会長、小林会計幹事
4月11日	会計監査	長野建築センター	高橋監事、関監事、関支部長 関田会計理事、小林会計理事
4月14日	総務委員会	長野建築センター	委員等 8名
4月17日	評議員会	長野建築センター	評議員等5名
4月22日	理事会	メルパルク長野	理事 18名
4月22日	通常総会	メルパルク長野	出席者 32名
4月28日	住宅相談	長野建築センター	小林業務委員長、 和田業務委員
5月 9日	総務委員会	長野建築センター	委員 4名
5月20日	理事会	長野建築センター	理事21名
6月 2日	住宅無料相談	長野建築センター	町田業務委員長、 山口副委員長
6月19日	総務委員会	長野建築センター	委員 4名
6月26日	理事会	長野建築センター	理事 17名
6月28日	長野地域景観協議会	長野合同庁舎	酒井支部長
7月11日	住宅無料相談	長野建築センター	町田業務委員長、 山口副委員長

■今後の予定

日 時	内 容	場 所	備 考
H20年 7月25日	商品説明会及び納涼会	メルパルク長野	

正会員

- 新会員 ○WIN構造設計室  
 <所在地>  
 〒381-2231 長野市川中島町四ツ屋1145-40  
 TEL:284-5335 / FAX:284-5335  
 <開設者> 勝家 宏郎  
 <管理建築士> 勝家 宏郎
- 所在地変更 ○(株)中央建築事務所  
 <新所在地>  
 〒380-0824 長野市南石堂1260-2  
 TEL / FAX は変更なし
- 所在地変更 ○(株)巴設計  
 <新所在地>  
 〒381-0038 長野市東和田181-24  
 TEL / FAX は変更なし



お知らせ

編集後記

Aテレビ局でエコ標語を募集していたのをご存じでしょうか?私の家ではブームになっており、家族で標語の応募をしていました。最近、エコ標語大賞の発表がありました、わが家の標語は残念ながら賞を取れませんでした。ちなみに大賞は「エッコらしよ。エッコらしよ。小さいことからコツコツと。。。」でした。子どもたちはこれを機会に、「私たちが大人になった時の地球はどうなってしまうのか。」地球環境を意識するようになりました。親として、子供たちのために微力であっても「地球にやさしい家づくり」にコツコツと取り組んでいかなければと考えています。